

厚生労働科学研究費補助金
循環器疾患等総合研究事業

全国患者登録データを用いたわが国の慢性心不全患者の
急性増悪・難治化要因の解明と効果的治療法の確立

H17－循環器（生習）－005

平成17年度 総括研究報告書

平成18年 3 月

主任研究者 筒 井 裕 之

目 次

I. 研究組織	5
II. 総括研究報告書	13
北海道大学大学院医学研究科教授 筒井裕之	
III. 研究計画書	21
IV. JCARE-CARD ホームページ	33
V. JCARE-CARD ニュースレター	45
VI. 発表論文	91

I. 研究組織

研究組織
主任研究者

①研究者名	②分 担 す る 研 究 項 目	③最終卒業学校・ 卒業年次・学位 及び専攻科目	④所属機関及び 現在の専門 (研究実施場所)	⑤所属機関 における 職名
筒井裕之	研究の統括・ 計画・立案	九州大学医学部・ 昭和57年・医学博士・ 循環器内科学	北海道大学 大学院医学研究科 循環病態内科学	教授

分担研究者

北島 顕	研究の遂行・ データの解析	大阪大学医学部・ 昭和41年・医学博士・ 循環器内科学	カレスサッポロ (日本循環器学会 理事長)	顧問
米澤一也	研究の遂行・ データの解析	北海道大学医学部・ 昭和57年・医学博士・ 循環器内科学	国立病院機構 函館病院臨床研究部	部長
白土邦男	研究の遂行・ データの解析	東北大学医学部・ 昭和42年・医学博士・ 循環器病学	医療法人社団 仁明会 齋藤病院	名誉院長
永井良三	研究の遂行・ データの解析	東京大学医学部・ 昭和49年・医学博士・ 循環器病学	東京大学大学院 循環器内科学	教授
和泉 徹	研究の遂行・ データの解析	新潟大学医学部・ 昭和46年・医学博士・ 循環器病学	北里大学 内科学第2	教授
小川 聡	研究の遂行・ データの解析	慶應義塾大学医学部・ 昭和45年・医学博士・ 循環器病学	慶應義塾大学内科学	教授
横山広行	研究の遂行・ データの解析	日本医科大学・ 昭和62年・医学博士・ 循環器内科学	国立病院機構 静岡医療センター 循環器科	医長
藤原久義	研究の遂行・ データの解析	京都大学大学院・ 昭和53年・医学博士・ 循環器内科学	岐阜大学 第2内科学	教授
友池仁暢	研究の遂行・ データの解析	九州大学医学部・ 昭和44年・医学博士・ 循環器内科学	国立循環器病セン ター	院長

①研究者名	②分 担 す る 研 究 項 目	③最終卒業学校・ 卒業年次・学位 及び専攻科目	④所属機関及び 現在の専門 (研究実施場所)	⑤所属機関 における 職名
堀 正二	研究の遂行・ データの解析	大阪大学医学部・ 昭和45年・医学博士・ 循環器病学	大阪大学大学院病 態情報内科学 (日本 心不全学会理事長)	教授
横山光宏	研究の遂行・ データの解析	神戸大学医学部・ 昭和44年・医学博士・ 循環器病学	神戸大学大学院 循環呼吸器病態学	教授
吉川純一	研究の遂行・ データの解析	大阪市立大学医学部 ・昭和41年・医学博士 ・循環器病学	大阪掖済会病院	病院長
松崎益徳	研究の遂行・ データの解析	山口大学医学部・ 昭和47年・医学博士・ 循環器病学	山口大学大学院 器官制御医科学 (日本心臓病学会 理事長)	教授
今泉 勉	研究の遂行・ データの解析	九州大学医学部・ 昭和48年・医学博士・ 循環器内科学	久留米大学 第3内科	教授
松本高宏	研究の遂行・ データの解析	九州大学医学部・ 昭和60年・医学博士・ 循環器内科学	国立病院機構 九州医療センター 循環器内科	医長
山崎 力	研究の遂行・ データの解析	東京大学医学部・ 昭和60年・医学博士・ 循環器病学	東京大学クリニカ ルバイオインフォ マテイクス	教授
溝上哲也	研究の遂行・ データの解析	産業医科大学・ 昭和63年・医学博士・ 予防医学	九州大学大学院 予防医学	助教授
岸 玲子	研究の遂行・ データの解析	北海道大学医学部・ 昭和46年・医学博士・ 公衆衛生学	北海道大学 大学院医学研究科 公衆衛生学	教授

研究支援員

絹川真太郎	研究の遂行・ データの解析	九州大学・ 平成6年・医学博士 循環器内科学	北海道大学 大学院医学研究科 循環病態内科学	研究支援員
-------	------------------	------------------------------	------------------------------	-------

症例登録施設一覧

No.	都道府県	施設名
1	北海道	JA北海道厚生連遠軽厚生病院
2	北海道	医療法人社団延山会北成病院
3	北海道	医療法人北海道循環器病院
4	北海道	釧路市医師会病院
5	北海道	溪和会江別病院
6	北海道	国立札幌病院
7	北海道	砂川市立病院
8	北海道	札幌鉄道病院
9	北海道	北海道大学医学部附属病院
10	岩手県	岩手医科大学附属病院
11	宮城県	東北厚生年金病院
12	宮城県	東北大学医学部附属病院
13	秋田県	市立秋田総合病院
14	山形県	公立置賜総合病院
15	山形県	済生会山形済生病院
16	山形県	山形大学医学部附属病院
17	福島県	白河厚生総合病院
18	東京都	綾瀬循環器病院
19	東京都	杏林大学医学部附属病院
20	東京都	慶應義塾大学病院
21	東京都	国家公務員共済組合連虎の門病院
22	東京都	国立病院東京医療センター
23	東京都	財)心臓血管研究所附属病院
24	東京都	財団法人せんぼ東京高輪病院
25	東京都	社会福祉法人慈生会慈生会病院
26	東京都	駿河台日本大学病院
27	東京都	順天堂大学医学部附属病院
28	東京都	昭和大学病院
29	東京都	西東京中央総合病院
30	東京都	総合病院立川相互病院
31	東京都	帝京大学医学部附属病院
32	東京都	東京医科歯科大学医学部附属病院
33	東京都	東京医科大学病院
34	東京都	東京慈恵会医科大学附属青戸病院
35	東京都	東京大学医学部附属病院
36	東京都	東京逡信病院
37	東京都	東京都教職員互助会三楽病院
38	東京都	東京都立荏原病院
39	東京都	東芝病院
40	東京都	東邦大学医学部附属大橋病院
41	東京都	東邦大学医学部附属大森病院
42	東京都	日本医科大学附属多摩永山病院
43	東京都	日本赤十字社医療センター
44	東京都	日本大学医学部附属板橋病院
45	神奈川県	医療法人徳洲会大和徳洲会病院
46	神奈川県	茅ヶ崎市立病院
47	神奈川県	国家公務員共済組合連平塚共済病院
48	神奈川県	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
49	神奈川県	東海大学医学部附属病院
50	神奈川県	北里大学病院

No.	都道府県	施設名
51	埼玉県	埼玉医科大学総合医療センター
52	埼玉県	埼玉医科大学附属病院
53	埼玉県	埼玉県立循環器・呼吸器病センター
54	埼玉県	深谷赤十字病院
55	埼玉県	防衛医科大学校病院
56	千葉県	亀田総合病院
57	千葉県	順天堂大学医学部附属順天堂浦安病院
58	茨城県	国立水戸病院
59	茨城県	国立療養所晴嵐荘病院
60	茨城県	総合病院取手協同病院
61	茨城県	筑波大学附属病院
62	栃木県	自治医科大学附属病院
63	群馬県	群馬県立心臓血管センター
64	群馬県	国立高崎病院
65	新潟県	新潟大学医学部附属病院
66	長野県	長野県 厚生連佐久総合病院
67	富山県	厚生連高岡病院
68	富山県	富山医科薬科大学附属病院
69	富山県	富山市立富山市民病院
70	富山県	富山赤十字病院
71	石川県	金沢循環器病院
72	石川県	金沢大学医学部附属病院
73	石川県	国立金沢病院
74	福井県	福井医科大学医学部附属病院
75	愛知県	安城更生病院
76	愛知県	医療法人澄心会豊橋ハートセンター
77	愛知県	協立総合病院
78	愛知県	国家公務員共済組合連名城病院
79	愛知県	社会保険中京病院
80	愛知県	藤田保健衛生大学病院
81	愛知県	豊橋市民病院
82	愛知県	名古屋市立城北病院
83	岐阜県	岐阜赤十字病院
84	岐阜県	岐阜大学医学部附属病院
85	静岡県	県西部浜松医療センター
86	静岡県	国立東静岡病院
87	静岡県	順天堂大学医学部附属順天堂伊豆長岡病院
88	静岡県	焼津市立総合病院
89	静岡県	静岡市立清水病院
90	静岡県	静岡市立静岡病院
91	三重県	三重県立総合医療センター
92	三重県	三重大学医学部附属病院
93	三重県	松阪市民病院
94	三重県	名張市立病院
95	大阪府	(財)田附興風会北野病院
96	大阪府	医療法人貴医会貴島中央病院
97	大阪府	医療法人若弘会若草第一病院
98	大阪府	近畿大学医学部附属病院
99	大阪府	国立病院大阪医療センター
100	大阪府	松下記念病院
101	大阪府	総合病院南大阪病院

No.	都道府県	施設名
102	大阪府	大阪医科大学附属病院
103	大阪府	大阪厚生年金病院
104	大阪府	大阪市立大学医学部附属病院
105	大阪府	大阪船員保険病院
106	大阪府	大阪大学医学部附属病院
107	大阪府	東大阪市立総合病院
108	大阪府	和泉市立病院
109	兵庫県	神戸大学医学部附属病院
110	兵庫県	兵庫医科大学病院
111	兵庫県	兵庫県立尼崎病院
112	兵庫県	兵庫県立姫路循環器病センター
113	兵庫県	宝塚市立病院
114	兵庫県	労働福祉事業団関西労災病院
115	京都府	京都桂病院
116	京都府	京都大学医学部附属病院
117	京都府	京都第二赤十字病院
118	京都府	京都府立大学医学部附属病院
119	京都府	京都府立与謝の海病院
120	京都府	三菱京都病院
121	京都府	社会保険京都病院
122	滋賀県	近江八幡市民病院
123	奈良県	財団法人天理よろづ相談所病院
124	奈良県	奈良医科大学附属病院
125	奈良県	奈良県立奈良病院
126	和歌山県	誠佑記念病院
127	和歌山県	和歌山県立医科大学附属病院
128	鳥取県	鳥取県立中央病院
129	鳥取県	鳥取大学医学部附属病院
130	島根県	総合病院松江生協病院
131	岡山県	岡山大学医学部附属病院
132	岡山県	岡山労災病院
133	岡山県	総合病院岡山協立病院
134	岡山県	総合病院岡山赤十字病院
135	広島県	医療法人あかね会土谷総合病院
136	広島県	広島県厚生連広島総合病院
137	広島県	広島赤十字・原爆病院
138	広島県	福山市民病院
139	山口県	山口大学医学部附属病院
140	山口県	総合病院山口赤十字病院
141	徳島県	国立療養所東徳島病院
142	香川県	国立善通寺病院
143	愛媛県	総合病院松山市民病院
144	高知県	近森病院
145	高知県	高知大学医学部附属病院
146	高知県	高知県立幡多けんみん病院
147	福岡県	新小倉病院
148	福岡県	医療法人弘恵会ヨコクラ病院
149	福岡県	株式会社麻生飯塚病院
150	福岡県	久留米大学医学部附属医療センター
151	福岡県	久留米大学病院
152	福岡県	九州大学医学部附属病院

No.	都道府県	施設名
153	福岡県	国立病院九州医療センター
154	福岡県	産業医科大学病院
155	福岡県	新小倉病院
156	福岡県	浜の町病院
157	福岡県	福岡県済生会福岡総合病院
158	福岡県	福岡赤十字病院
159	福岡県	福岡大学筑紫病院
160	福岡県	福岡大学病院
161	福岡県	北九州市立医療センター
162	福岡県	労働福祉事業団門司労災病院
163	熊本県	熊本中央病院
164	熊本県	公立玉名中央病院
165	大分県	大分大学医学部附属病院
166	宮崎県	宮崎大学医学部附属病院
167	宮崎県	宮崎循環器病院
168	鹿児島県	国立病院九州循環器病センター
169	沖縄県	琉球大学医学部附属病院

研究事務局

学術担当

眞茅（土橋）みゆき

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1

国立国際医療センター研究所 遺伝子診断治療開発研究部内

TEL:03-5213-3415, e-mail:kanri@jcare-card.jp

財務担当

阿部聡子, 小浅真由美

〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目

北海道大学大学院医学研究科 循環病態内科学

TEL:011-706-6973, e-mail:cvsecret@med.hokudai.ac.jp

Ⅱ. 総括研究報告

研究課題 全国患者登録データを用いたわが国の慢性心不全患者の急性増悪・難治化要因の解明と効果的治療法の確立

課題番号 H17 - 循環器（生習） - 005

主任研究者 北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学・教授
筒井裕之

1. 研究成果

本年度は、急性増悪のために入院治療を行った慢性心不全患者を対象として全国レベルで患者登録データベースを構築した。全国の日本循環器学会研修施設のうち患者登録システムの継続的運用が可能な施設において 2800 例近くの症例登録がなされた。このような全国レベルでの患者登録は、循環器領域では初めての事業であるが、登録は順調に進捗し、ほぼ目標症例数に達した。さらに、患者データ登録用のホームページの運用やデータサーバーの管理運営も問題は発生していない。

登録された慢性心不全患者の平均年齢は 71 歳で、65 歳以上の高齢者が 70% を占めた。特に女性の高齢者の占める割合が高かった。心不全の原因となる基礎心疾患は、虚血性心疾患が 32% と最も多く、弁膜症、高血圧、拡張型心筋症が続いた。心臓超音波にて測定した左室駆出率の内訳では、40% 以下の収縮不全が 60% を占めるのに対し、50% 以上と比較的保たれた患者も 23% であった。このような患者は、近年拡張不全による心不全として注目されているが、収縮不全に比し、より高齢で、女性に多かった。収縮不全では、虚血性心疾患と拡張型心筋症が主たる基礎疾患であるのに対し、拡張不全は、高血圧性心疾患を基礎疾患とする患者が 45% を占めた。また、拡張不全では約 40% に心房細動をみとめた。平成 18 年度は、これらの登録患者を対象に、予後（死亡および心不全増悪による再入院）調査を行う。

本研究は現在進行中であるが、登録時データの段階でも、慢性心不全患者を対象としたわが国初の大規模な登録研究として高く評価されている。本年度の研究成果は、論文として発表するとともに、日本循環器学会・日本心臓病学会・日本老年医学会のシンポジウムなどにおいて「わが国初のデータ」として公表することを招請された。

2. 研究成果の意義及び今後の発展

本研究は、慢性心不全患者を対象とした全国規模での患者登録データを構築することによって心不全の急性増悪・難治化要因を解明し、効果的治療法の確立を目指すものである。多数の患者を対象として、臨床像と予後との関連、特に治療内容と予後との関連を解析する。平成 18 年度は、平成 17 年度において構築した全国レベルでの患者登録データベースを活用し、登録患者を対象とした予後（死亡および心不全増悪による再入院）調査を行う。本研究によって、わが国の慢性心不全患者における急性増悪・難治化要因の解明や各種治療法の効果の判定など極めて貴重な情報を得られると期待される。

3. 倫理面への配慮

本研究は、「疫学研究に関する倫理指針」および「臨床研究に関する倫理指針」を遵守して研究を計画・実施しているが、特に以下の倫理的配慮を行っている。

- 1) 倫理委員会の審査：研究対象患者のプライバシー保護を確実にするために、倫理委員会において倫理面に対する配慮が十分に行なわれているか審査を受けたい承認を得て実施している。倫理委員会が設置されていない施設の参加を可能にするために、各々の地域の中核施設（大学病院など）の倫理委員会に審査を依頼する。
- 2) 対象患者からの同意取得：研究に際しては、あらかじめ研究内容、意義と危険性およびプライバシー侵害の恐れがないこと、同意しなくても不利益は受けたいこと、同意は随時撤回できることを患者に説明し、文書で同意を得ている。
- 3) 匿名性：症例の登録は、各施設における ID で行い、データがどの症例のものかは、診療を担当した主治医のみが把握している。研究担当者は、ID がどの患者のものか特定できないため患者のプライバシーは保護される。さらに、データベースには、別の症例コードを入力するため、データベースから患者個人を特定することは困難である。

4. 発表論文



〈論文発表〉

- 1 Tsutsui H: Novel Pathophysiological Insight and Treatment Strategies for Heart Failure-Lessons From Mice and Patients-. Circ J 6:1095-1103, 2004
- 2 筒井裕之, JCARE 研究班：慢性心不全の実態からみた治療のあり方—臨床疫学研究からのレッスン—. 薬剤疫学 Jpn J Pharmacoepidemiol 9(1):1-6, 2004
- 3 眞茅みゆき, 筒井裕之：慢性心不全治療における患者管理。循環器科 56(4):439-444, 2004
- 4 筒井裕之, 竹下 彰, JCARE 研究班：わが国における慢性心不全患者の登録システムの確立と予後の規定因子の解明。EBM REPORT Heart Failure 6:12-13, 2004
- 5 眞茅みゆき, 筒井裕之：臨床疫学から見たわが国における慢性心不全患者の実態。循環器科 57(3):218-223, 2005
- 6 筒井裕之：慢性心不全治療における疾患管理。臨床と研究 82(8):1388-1392, 2005
- 7 眞茅みゆき, 筒井裕之：わが国における高齢者心不全の特徴：どのようなマネジメントが求められているのか？循環器科 59(1):90-94, 2006

〈学会発表〉

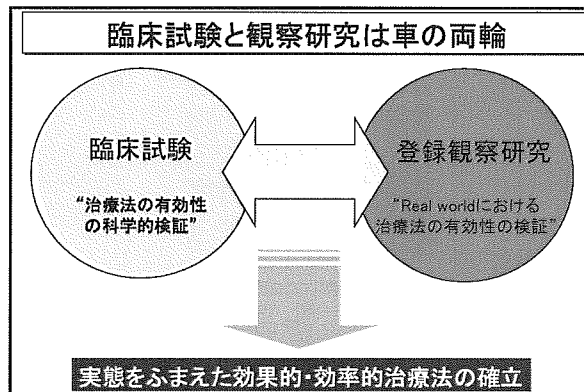
- 1 筒井裕之：わが国の慢性心不全患者の予後を改善するには何が必要か。第 69 回日本循環器学会セミナー 2005. 3. 19
- 2 筒井裕之：高齢者の拡張期心不全—実態から見た治療のあり方—。第 47 回日本老年医学会シンポジウム 2005. 6. 17
- 3 Hiroyuki Tsutsui, Miyuki Tsuchihashi, Akira Takeshita, JCARE Investigators: "Real world" patients with heart failure: Lessons from the nationwide registry in Japan. 第 53 回日本心臓病学会アジアセッション 2005. 9. 20
- 4 眞茅みゆき, 筒井裕之, 竹下 彰：わが国における収縮不全・拡張不全の頻度・予後, 第 53 回日本心臓病学会シンポジウム 2005. 9. 19

循環器疾患等総合研究
研究成果発表会
(平成18年2月6日)

全国患者登録データを用いたわが国の慢性心不全患者の急性増悪・難治化要因の解明と効果的治療法の確立

北海道大学循環病態内科学
筒井裕之



慢性心不全の増悪のため入院治療を要する患者を対象とした調査研究

Japanese CArdiac REgistry in CHF-CARDiology)
(JCARE-CARD研究)

全国多施設での前向き登録観察研究

JCARE-CARD: プロトコール

研究デザイン: 前向き登録観察研究
参加施設: 日本循環器学会研修施設のうち承認の得られた施設
対象: 慢性心不全の治療にて入院治療を行なった15歳以上の患者
採用基準: Framingham 研究の診断基準
除外基準: 急性心不全、無症候性左心機能障害
登録期間: 2004年1月～2005年6月

JCARE-CARD: 調査項目

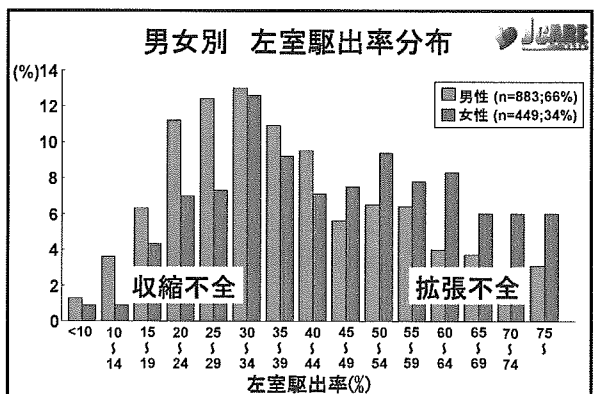
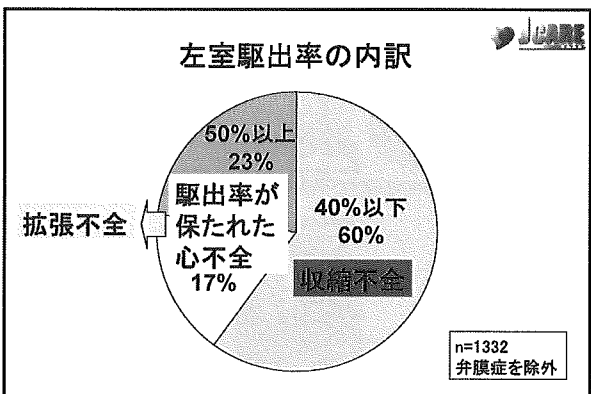
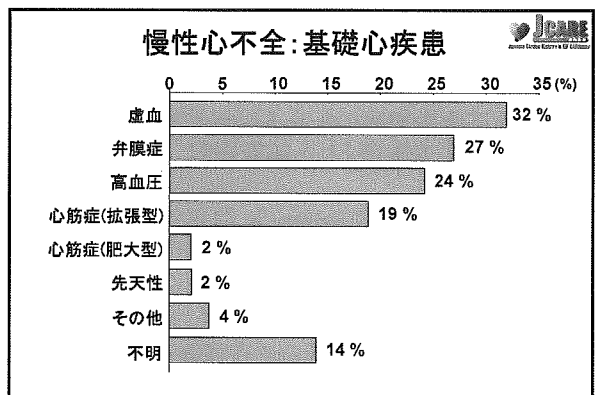
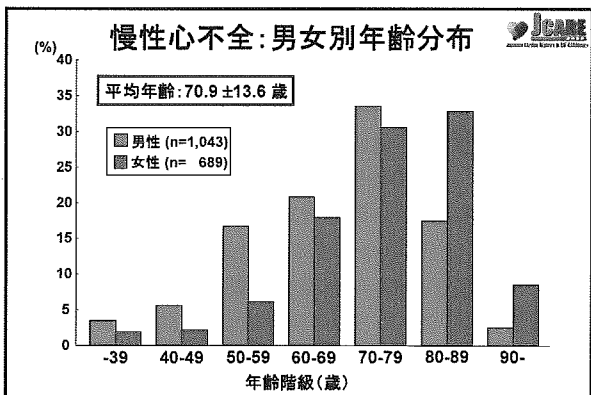
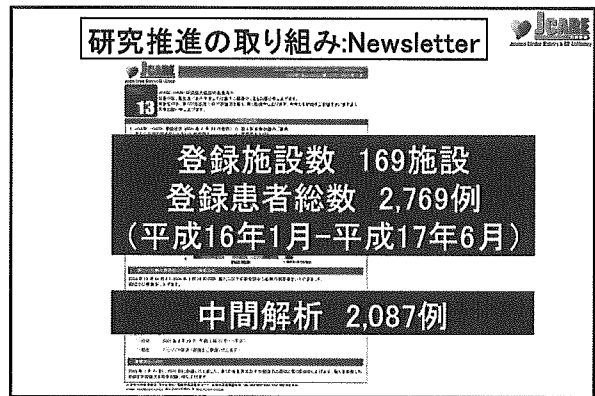
調査項目	内容
患者基礎データ	年齢・性・身長・体重
患者背景データ	診断・合併症・重症度
退院時状況と治療	入院中死亡 退院時薬物治療・非薬物療法
予後調査(1年後)	生死・死因・心不全増悪による入院 持続性心室頻拍

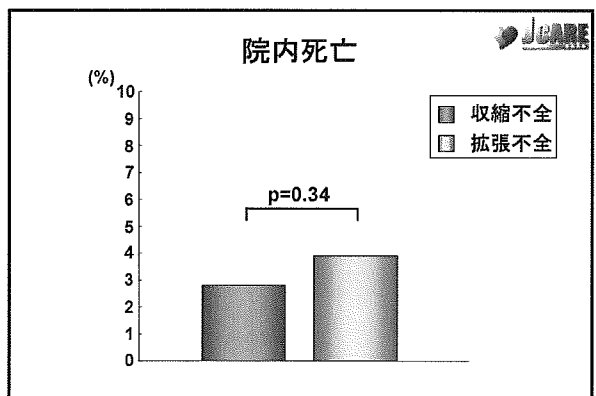
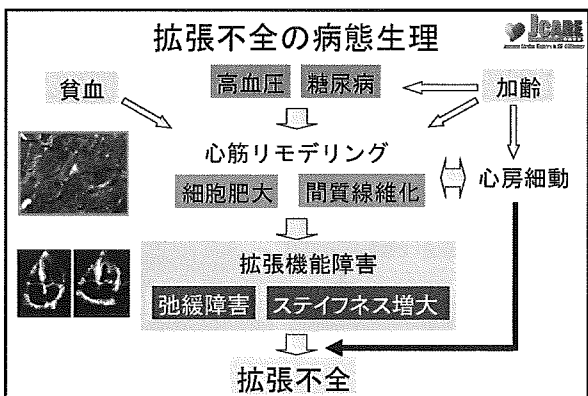
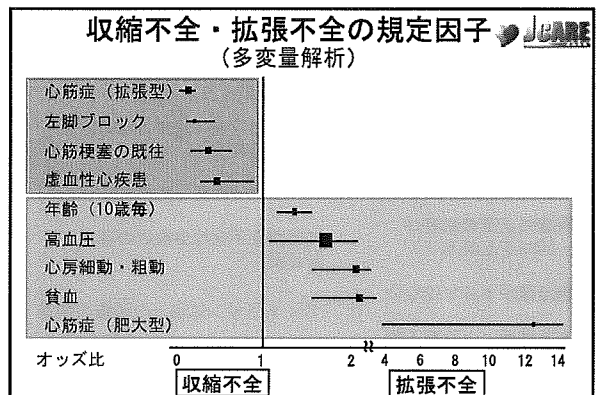
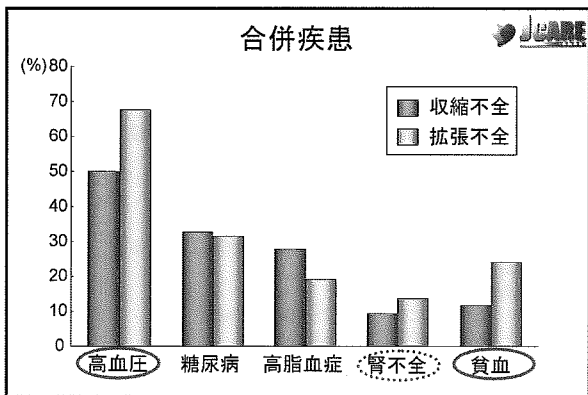
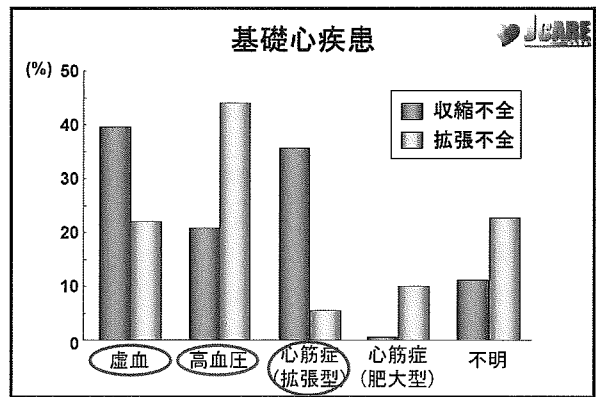
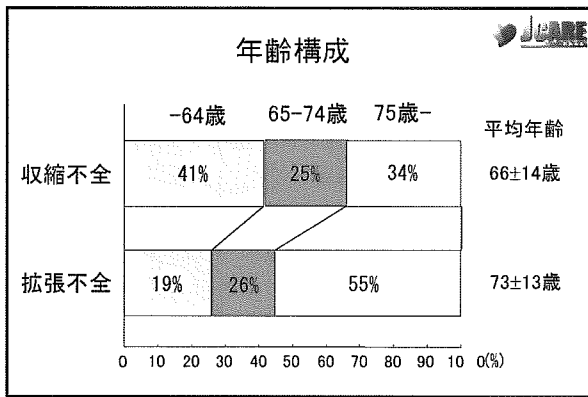
JCARE-CARDホームページ

慢性心不全の増悪のため入院治療を要する患者を対象とした調査研究

研究の目的 研究の概観 患者登録

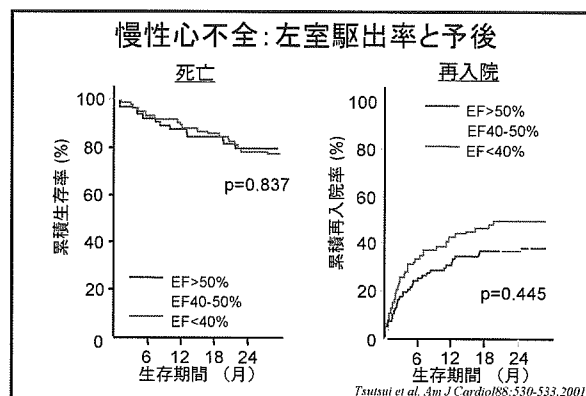
後援: 日本循環器学会、日本心不全学会





拡張不全：院内死亡率

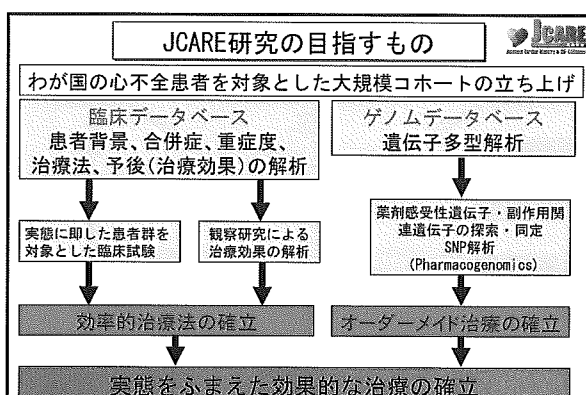
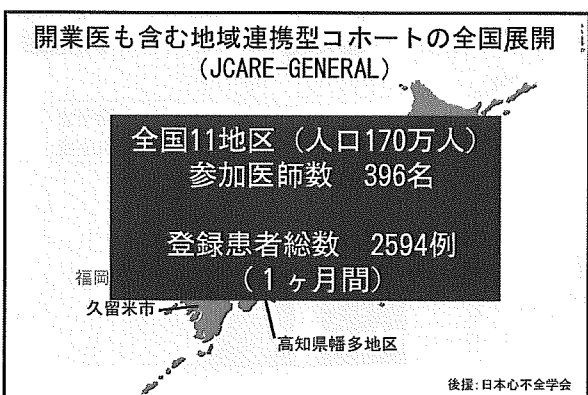
報告名	n	拡張不全の割合	死亡率		P値
			収縮不全	拡張不全	
Smith (JACC 2003)	413	48%	1%	2%	0.61
Berry (Heart 2005)	528	29%	10%	12%	0.38



慢性心不全：実態からみた治療のあり方

実態からわかること	治療のあり方
高齢者が多い	高齢者の診断・治療には特別な注意が必要
虚血性と高血圧性が多い	危険因子の是正による予防が重要
収縮機能正常の患者が30-50%をしめる	拡張機能不全の治療法の確立が必要
薬物治療が十分ではない	ガイドラインに沿った治療の推進
心不全増悪による再入院が多い	疾患管理 (Disease management) の導入

- ### JCARE-CARD：今後の解析
- わが国における慢性心不全患者の実態
 - 基礎疾患（虚血、拡張型心筋症、高血圧）別の比較
 - 拡張不全 (EF>50%) と収縮不全 (EF<40%) の比較
 - 予後の規定因子（死亡・心不全増悪による再入院・不整脈）
 - 合併疾患（糖尿病・腎不全・透析・高尿酸・貧血・肥満など）の予後に与えるインパクト
 - 心合併症（心房細動、僧帽弁閉鎖不全など）の予後に与えるインパクト
 - 薬剤別の有効性の比較
 - 収縮不全に対するACE阻害薬 対 ARB
 - 収縮不全に対するβ遮断薬の効果
 - 拡張不全に対するRA系阻害薬 対 Ca拮抗薬



Ⅲ. 研究計画書

我が国における慢性心不全患者の
登録システムの確立と予後の規定因子の解明
(Japanese Cardiac Registry in CHF: JCARE 研究)

慢性心不全の増悪のため入院治療を要する患者

を対象とした調査研究

(JCARE-CARD 研究)

研究計画書

主任研究者
九州大学循環器内科
竹下 彰
北海道大学循環病態内科学
筒井裕之

平成 15 年 4 月 10 日
平成 15 年 4 月 15 日改訂
平成 15 年 4 月 30 日改訂
平成 15 年 5 月 26 日改訂
平成 17 年 4 月 1 日改訂

1.研究課題名

慢性心不全の増悪のため入院治療を要する患者を対象とした調査研究
Japanese CArdiac REgistry in CHF-CARDiology 研究
(略称 JCARE-CARD)

2.研究組織(敬称略)

主任研究者: 竹下彰 九州大学循環器内科
筒井裕之 北海道大学循環病態内科学

中央委員:主任および分担研究者により構成する。

竹下 彰:九州大学	名誉教授	研究の統括・計画・立案(日本循環器学会前理事長)
筒井裕之:北海道大学	教授	研究の統括・計画・立案(北海道地区委員兼任)
北島 顕:北海道大学	教授	研究の遂行・データの解析(日本循環器学会理事長、日本心不全学会前理事長、北海道地区委員兼任)
小川 聡:慶応義塾大学	教授	研究の遂行・データの解析(日本心臓病学会前理事長、関東地区委員兼任)
白土邦男:東北大学	名誉教授	研究の遂行・データの解析(東北地区委員兼任)
笠貫 宏:東京女子医大	教授	研究の遂行・データの解析(関東地区委員兼任)
永井良三:東京大学	教授	研究の遂行・データの解析(関東地区委員兼任)
山口 巖:筑波大学	教授	研究の遂行・データの解析(関東地区委員兼任)
磯部光章:東京医歯大学	教授	研究の遂行・データの解析(関東地区委員兼任)
和泉 徹:北里大学	教授	研究の遂行・データの解析(関東地区委員兼任)
竹越 囊:金沢医科大学	教授	研究の遂行・データの解析(北陸地区委員兼任)
相澤義房:新潟大学	教授	研究の遂行・データの解析(北陸地区委員兼任)
藤原久義:岐阜大学	教授	研究の遂行・データの解析(東海地区委員兼任)
堀 正二:大阪大学	教授	研究の遂行・データの解析(日本心不全学会理事長、関西地区委員兼任)
横山光宏:神戸大学	教授	研究の遂行・データの解析(関西地区委員兼任)
吉川純一:大阪市立大学	教授	研究の遂行・データの解析(関西地区委員兼任)
松崎益徳:山口大学	教授	研究の遂行・データの解析(日本心臓病学会理事長、中国地区委員兼任)
大江 透:岡山大学	教授	研究の遂行・データの解析(中国地区委員兼任)
土居義典:高知医科大学	教授	研究の遂行・データの解析(四国地区委員兼任)
今泉 勉:久留米大学	教授	研究の遂行・データの解析(九州地区委員兼任)

地区委員:

上記地区代表委員の施設よりさらに1名の地区委員を選任する。

データ解析センター:

山崎 力:東京大学	教授	研究の遂行・データの解析
古野純典:九州大学	教授	研究の遂行・データの解析
溝上哲也:九州大学	助教授	研究の遂行・データの解析
岸 玲子:北海道大学	教授	研究の遂行・データの解析

外部評価委員

友池仁暢:国立循環器病センター	院長	研究の外部評価
-----------------	----	---------

研究事務局

研究組織の中央委員は、我が国における循環器関連学会の主要な役員によって構成されている。さらに、全国を9地域にわけ、それぞれの地区に地区委員を選任する。地区委員は全国の研究協力施設でのデータ登録が円滑に進むよう支援を行う。

3.研究の概要

●慢性心不全は高血圧、虚血性心臓病、心筋症など器質的心疾患の終末像であるが、その患者の多くは入・退院を繰り返す高齢者である。このような患者は増加の一途を辿っており、今後さらに増加していくと予想される。近年特に、入退院を繰り返す高齢の慢性心不全患者が、心臓救急の現場で著しく増加しており、有効な対策を打ち出すことが急務となっている。

●欧米では、このような慢性心不全患者の増加は、臨床上の問題のみならず医療経済も含んだ大きな社会問題として捉えられ、その効果的治療法や予防法の確立を目的とした大規模な登録研究や臨床試験が行われている。しかしながら、我が国では慢性心不全を対象とした疫学研究が極めて乏しいため、患者の数、臨床像、治療および予後(生命予後と心不全増悪による再入院)などの実態は不明である。そのために、予後を改善することが知られている治療法が実際にどの程度行われており、本当に有効かどうか、予後を規定する因子が何であり、予後を改善するために必要な方策は何かという臨床上極めて重要な問題が未解決のままである。欧米で行われた研究結果をそのまま人種も年齢構成も異なる日本人の患者にあてはめることができないのは言うまでもなく、我が国独自の研究が必要である。さらに、大規模臨床試験の患者は、年齢や基礎疾患など実際の患者とは大きく異なっており、一部の患者しか反映していないことから、我が国で大規模な登録システムを構築し、データ解析を行う登録研究が必要である。このような研究は、未曾有の高齢化社会を迎え、さらに生活の欧米化に伴い虚血性心疾患が増加している我が国においてこそ取り組むべき緊急度の高い研究課題である。

●本研究は、我が国における慢性心不全患者を、全国レベルで登録し、データベ